

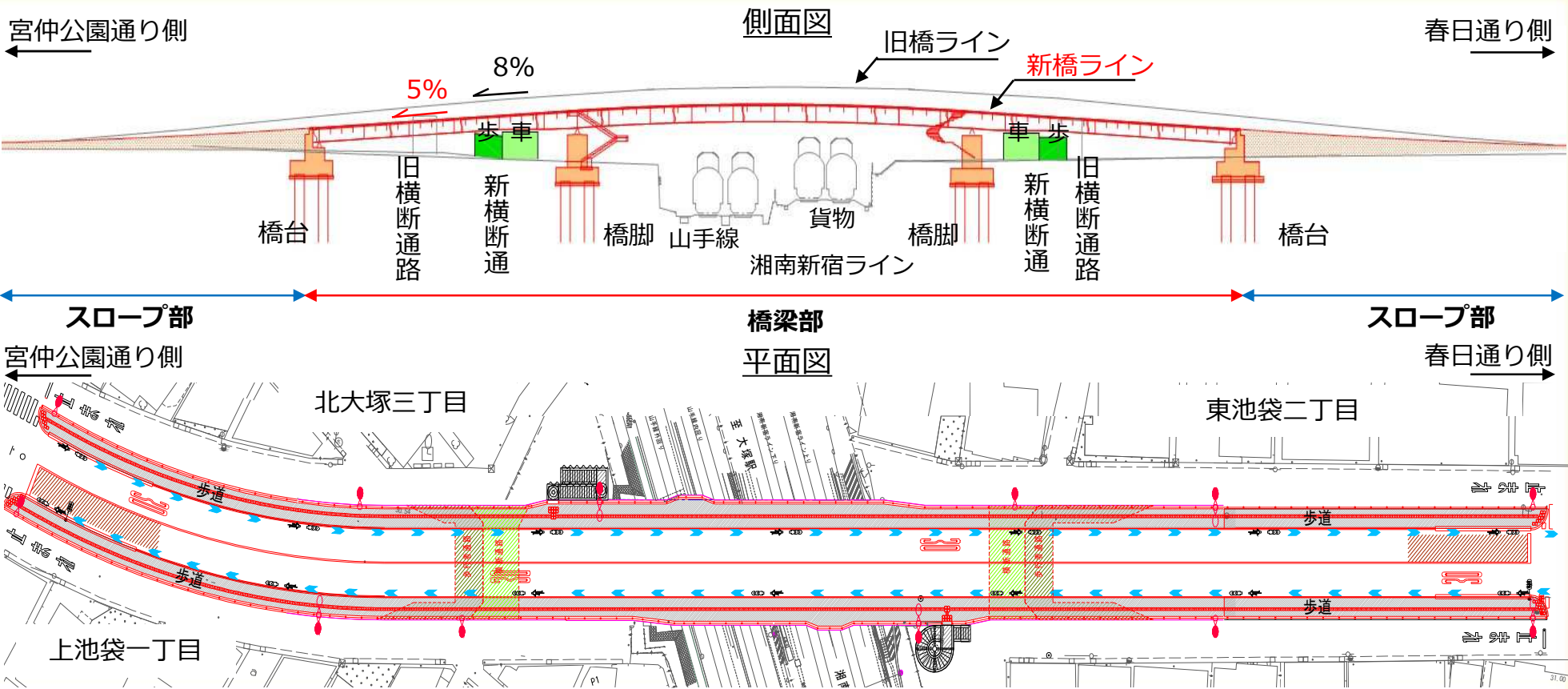
1. 西巣鴨橋について

位置図



事業工程

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
橋梁撤去工事									開通
橋梁新設工事									
橋梁製作工事									



- ・西巣鴨橋は昭和34年に架設され、供用から60年経過しており、区の管理する橋梁で一番古い橋でした。
- ・路面上のひび割れや各所に鉄筋の露出や漏水が見られ、早期措置が必要な橋に該当していました。
- ・西巣鴨橋の架け替えを実施し、老朽化解消や耐震性の向上、歩道の整備や勾配の緩和など、より安全で快適な歩行空間が形成されます。

2. 工事ダイジェスト



平成30年11月に橋の全面通行止めを実施し、撤去工事に着手しました。

橋の製作は、大阪の工場で作成された。パーツ毎に製作を行いました。

その後、パーツ毎にトラックで運搬し、現地で組立を行います。

鉄道上空部の橋は、「送り出し工法」で架設を行いました。組み立てた橋を、春日通り側から宮仲通り側に向かって、設備を用いて送り出すようにして架設します。この作業は終電～始発の間で実施しました。

3. 生まれ変わった西巣鴨橋

旧橋



新橋



新たな橋は、コンクリート構造から鋼製構造へ変更。耐震性や耐久性が向上し、橋の高さを約1.5mほど低くすることで橋の勾配が8%から5%に緩和しました。

旧橋



新橋



旧橋では、歩道が橋の一部のみでしたが、新たな橋は全区間に歩道(幅員2.0~2.5m)を整備し、より多くの方が安全に利用できる橋へと生まれ変わりました。

旧橋



新橋



親柱は橋のたもとに設置。区のシンボルマーク「ソメイヨシノ」に合わせ桜御影石を採用し、橋の顔として利用者を温かく迎え入れます。